

巻頭グラビア	「なんてん」特集		
「なんてん」特集	なんてんの5年間	福井康雄, 水野亮 大西利和, 水野範和	11
EUREKA 〈研究紹介〉	推古天皇36年の皆既日食記事の信憑性	谷川清隆 相馬充	27
	銀河の化学力学進化の数値シミュレーション	中里直人	38
ASTRO NEWS	「銀河とは何か」 — Karl-Schwarzschild Prizeを受賞して —	小平桂一	44
シリーズ	《海外研究室事情 (25)》 Department of Astronomy, University of Virginia 米国バージニア大学天文学科	藤田裕	50
要望書	宇宙3機関の統合に関する要望書提出について		52
ATAKAMA 便り	ALMA (アルマ) 公開講演会 「宇宙の謎を解明するのは君たちだ! — 世界中の 国々が共同で建設するアンデス巨大電波望遠鏡 —」	宮脇亮介	54
雑報	天文教育フォーラム 「現代新天体発見事情」報告	天文教育フォーラム実行委員	56
年会	第3回ジュニアセッションの報告	ジュニアセッション世話人	59
書評	Universe (第6版)	富阪幸治	62
月報だより			63

[表紙説明]

表紙の図は、名古屋大学「なんてん」望遠鏡がとらえた太陽系に最も近い中小質量星形成領域であるへびつかい座・おおかみ座領域の分子雲である。この領域をこれほど広範囲(850平方度)にわたり高空間分解能(4または8分角グリッド)で観測した例はなく、星形成への理解が進むことが期待される。図に描かれた赤丸、青十字はそれぞれOB型星とTタウリ型星であるが、分子雲の中で生まれたはずのTタウリ型星が分子雲から遠く離れたところにもたくさん事がわかる。これら孤立Tタウリ型星の起源は長い間議論されてきたが、「なんてん」による観測の結果、OB型星の影響で分子雲がより早く散逸するのが原因であることが示唆された。また図中央には、OB型星とは逆方向に吹き流れたような長いフィラメント状の分子雲があり、分子雲がOB型星から強い影響を受けていることがわかる。

(「なんてん」特集参照)